

コニー・ウィリス『航路』上巻 のあらすじとメモ

takaidos

memo

コニー・ウィリス、2001年発刊。

大森望/訳、2002年発刊。

本書は臨死体験に関するドラマ。

映画『フラットライナーズ』の話も出て来るが、似ている。

被験者を薬で臨死状態にし、蘇生後何を見たか訊く。

またその間の脳の状態をスキャン撮影して脳のどの部位が動いていたかを確認する。

被験者としては死後の世界を信じる人やUFO信者、注目を浴びたいという人は除外される。

実験の進め方に問題があると思う。

まずは実験者自身が体験してみるべきでは？

被験者選びはもっと時間をかけて念入りにすべき。

一度でもあの世の話など聞いたり本で読んだりした人は避けるべきで、何回かの実験中も被験者が余計な知見を得ないように注意すべき

では？

ストーリーの運びはシドニー・シェルダンのようにうまい。

言葉を積み上げるといふか読者がカメラワークをちゃんと終えるように繋いでいる。

テンポもよく次の展開が気になる。

<目次>

第1部

1～18

第2部

19～28 下巻へつづく。

日本版に寄せて ～ コニー・ウィリス 2002年8月

<登場人物>

ジョアンナ・ランダー:認知心理学者。科学的。

リチャード・ライト:神経内科医。科学的。

ティッシュ・ヴァンダーベック:マーシー・ジェネラル病院内科勤務の看護婦。ブロンド美人。

ヴィエル・ハワード:マーシー・ジェネラル病院ER勤務の看護婦。

バーバラ:メイジーの病棟の看護婦。

ドクター・ジャスミン:神経伝達物質アミグリシン、 θ アスパルシンに詳しい。

モーリス・マンドレイク:ノンフィクション作家。非科学的。死後生、あの世、魂の不滅を信じ、患者に同じような臨死体験のイメージを

吹き込む。捏造・疑似科学。スピリチュアリズム。著書『トンネルの向こうに光』の印税をマーシー・ジェネラル病院に寄付し病院内で

の活動許可を得た。

エスター・ブライトマン:ブライトマン・インダストリーズのハロルド・ブライトマンの未亡人。マーシー・ジェネラル病院の理事会の最

長老。マンドレイクに傾倒している。

ミスター・オレアドン:リチャードが最初の頃にRIPTスキャンを試した被験者。

コーマ・カール:カール・アスピノール。入院中の男性患者。昏睡中。湖でボートを漕ぐ夢？を見る。

メイジー・ネリス:心臓病で入退院をくりかえす少女。9歳くらい。ダーク・ブロンド五分刈り。

ミセス・ダヴェンポート:マーシー・ジェネラル病院の内科に入院中の臨死体験者。銀髪。

ミセス・ウーラム:マーシー・ジェネラル病院に心臓病で入院中の老婦人。聖書。

グレッグ・メノッティ:心臓発作でERに緊急入院した男性。34歳。体格はいい。

アミーリア・タナカ:24歳。医師を目指す学生。NDEの被験者。

ミセス・アスピノール:コーマ・カールの妻。

パット・ブライアリー:ジョアンナの高校時代の英語教師。

キット・ガーディナー:ブライアリーの姪。

ケヴィン:キットの許嫁？

シャーリー・マクレーン:前世があると信じる。

ブライディ・マーフィー:逆光催眠で現れた別人格。前世がある証拠とされた。

<あらすじ>

第1部

1. ジョアンナ目線

ミセス・ダヴェンポートに臨死体験を聞くが、マンドレイクの誘導尋問に汚染されていてダメと知る。

2. ジョアンナ目線

グレッグが「彼女は遠過ぎる」「58」と繰り返して死ぬ。

3. リチャード目線

リチャードはメイジーやマンドレイクに遭い、ジョアンナとも会うことが出来た。マンドレイクのような疑似科学者がなぜ病院内で活動しているか、理由を聞く。ジョアンナに自分の研究内容(臨死体験者の脳のスキャンを撮ること)を説明する。

4. ジョアンナ目線

リチャードに研究協力を要請される。

メイジーに会って、ヒンデンブルク号爆発のときの臨死体験者の見たものの話を聞く。

5. リチャード目線

ジョアンナ、リチャードの要請を承諾する。

リチャードの研究室にマンドレイクが来て献本。

入れ替わりにジョアンナが来る。

"靴"を棚の見えない所に隠す。

被験者の学生アミーリア・タナカが来る。

ジョアンナは被験者リストを見て、問題のある者をリチャードに教える。

注目強迫症患者、臨死体験を知らないと応えたマンドレイクの馴染みの患者、UFOに拉致されたと主張するひと。

6. ジョアンナ目線

エド・ウォジャコフスキーがリチャードの研究室を訪れる。

80歳にはなる太平洋戦争時ミッドウェー海戦を戦った退役軍人だった。

戦争体験談をしたくて良く喋る人物だった。

7. ジョアンナ目線

ジョアンナはヴィエルから留守電を受けて「58」の意味が分かったのかと思い、聞きに行くが彼女は話をはぐらかす。

アミーリア・タナカ。

ジョアンナの質問にいくつか応え、検査台に身を横たえ点滴を受けてNDEに入る。

自発的に覚めて、ふたたびジョアンナが質問し検査は終了する。

8. ジョアンナ目線

アミーリアはNDE中に「ああ、ダメ...」と言った。

またかつての被験者で「おれはそこにいたんだ！現実だったんだ！」と言った男と似た感じがした。

ジョアンナは録音したテープを文章に起こすために戻り、留守電の声を聞いてメイジーを訪ねる。

メイジーはルシタニア号の沈没話とピーターパンの話をし、また死に関して嘘をついてはいけないと言う。

9. ジョアンナ目線

ジョアンナはヴィエルの家に行き、ディッシュ・ナイト(映画二本を見ながら飲み食いしてお喋りをする会)の準備をする。

ヴィエルは実はリチャードも誘っていて、3人は臨終の言葉について話す。

ジョアンナはハイスクールという言葉のあたりで"58"について何か思い当たるが分からない。

10. ジョアンナ目線

突然死者(Sudden Death)のミセス・ウーラムがERに運ばれて来る。

ジョアンナ、被験者たちと面接。

ロナルド・ケルソ。

ハリウッド・ビデオに勤めている。チャットルームのオシリスに教えてもらって応募。映画で少年の首吊りシーンを気に入り、臨死体験

をしたい。

ミズ・コフィ。

データ・システム・マネージャー。臨死体験などはなし。サイキック・パワーや月の女神などは

信じる。

ミセス・トラウトハイム。

100kmほど離れたコロラド州ディアトレイルからはるばるやって来た。

編み物をしながら面接。故郷の情景をうまく語れる。

臨死体験は無いが、叔母が亡くなる前の日に数年前に亡くなった自分の母親を見たと言っていた。

ミスター・セイジ。

表現力が足りない。短い答えしかしない。

メイジーが退院するので、と緊急で呼ばれる。

途中でマンドレイクに捕まり、ダヴェンポート夫人の新たな臨死体験と、リチャードに騙されるな、彼のパートナーを突き止めてくれ、

と言われる。

メイジーはコネチカット州でサーカスのテントが火事になり168人が焼死した話をする。

11. ジョアンナ目線

ミスター・ピアソルと面接しながら、ミセス・ヘイトンと電話で面接の日程を取り付ける。

ミセス・ウーラムに会いに行くと、彼女はマンドレイクを追い払ったあとだった。

彼女は聖書の教えに忠実だった。

オフィスに戻ったジョアンナは、グレッグの録音、アミーリア・タナカの録音、ウーラムの「主人はいつでもあなたとともにある」の言

葉とその後の絶望に共通点を感じる。

12. リチャード目線

被験者5人で検査を繰り返す。

ミスター・ウォジャコフスキーは例の音は戦時中に零戦に戦闘機の翼が撃たれたときの音のように聞こえたという。トンネルの出口の扉

を開けたら明るかったという話もする。

ミセス・トラウトハイムはノンレム睡眠からNDE状態に入らず覚醒してしまったため、後日再度実験に来てもらうことにした。

アミーリア・タナカのスキャン結果では脳内分泌はウォジャコフスキーより少なかった。
検査後、彼女はいつも寒さを感じていた。

ミスター・ピアソルは体外離脱を体験したという。天井付近に浮かび、窓やキャビネットのてっぺんが見えた、という。しかしジョアン

ナが置いた"靴"には気付いていなかった。

トンネルの端にはゲートがあって通り抜けられず、今まで見たどんな光より明るく、平和であたたかで安全な気持ちになった、という。

ミセス・ヘイトンは捕まらず日程を決められない。

13.ジョアンナ目線

条件に適合すると思っていた5人の被験者だったがだんだん苦勞し始める。

そして多弁なミスター・ウォジャコフスキーの戦時中の体験談を聞かされているうちにジョアンナは作り話を発見してガッカリする。

14.リチャード目線

マンドレイクは手段を変えて、所長や理事たちにリチャードの実験は超常現象を示唆する証拠が出ていると吹聴し、所長から研究の経過

を提出するよう言われる。

ミセス・トラウトハイムは脳スキャンの結果から一瞬だけNDE状態に入っていることが分かった

。

アミーリアはNDE状態に5分間入れるが、他の講義の単位を取るのに忙しくなり、実験を辞退する

。

ジョアンナは自分が潜る、とリチャードに宣言する。

15.ジョアンナ目線

ついにジョアンナが潜る。

音の正体は分からず。

真っ暗な狭い部屋のようなトンネルで見覚えのあるようなところに立っていた。

目の前に扉のようなものがあり、突然ヘッドライトのように眩しく明るくなる。

その中に白い人のような形のものも見たがよく分からなかった。

NDEから覚めると確かに現実にあったように思われた。

翌日も潜ることにするが、なにか恐れを感じた。

16. ジョアンナ目線

ジョアンナはさらに2回潜る。

音の正体は依然として不明。

そこでは前回より長い廊下で両側にドアが並び、その先の行き止まりにもドアがあった。

ドアは少し開いていて光が漏れて廊下を照らしていた。

そしてドアの向こうには誰かいるようで光が動いていた。

「寒い」という声が聞こえた。

目が覚めるとジョアンナは寒くは感じなかったが、自身の身体は凍えたようにガチガチ震えていた。

ティッシュが毛布を被せてくれたとき、あの場所について何か思い出しそうになった。

音の正体を探ろうと廊下を引き返そうとしたらNDEから弾き出されてしまった。

ミセス・ウーラムにもNDEから戻って来る時の感覚を聞く。

カールの様子も見に行く。

17. ジョアンナ目線

NDE中に見たもの感じたものはすべて側頭葉関連だとリチャードは言う。

入院して来た患者にインタビューを行なう。

マンドレイクに捕まり、ミセス・ダヴェンポートが廊下は向こうの世界への入り口と分かったという。

ミスター・ウォジャコフスキーが聴覚検査の方を選んでNDE研究の方を辞退する。

ジョアンナは4回目の潜り。

廊下の先の扉は開いていて、両側のドアには番号があった。

歩いて行くとドアの向こうには白い天使の姿があった！

18. ジョアンナ目線

肺癌、心停止経験のあるミズ・グラントと話す。

ミセス・ウーラム、聖書を抱いて死去。

ジョアンナはNDEで見た廊下が病院内に存在しないか探し回る。

看護婦のバーバラに会い、メイジーに会いに行く。

5回目の潜り。

ジョアンナは廊下を進み、扉を開ける。

白い服を来た男女と会話。

主従関係があるらしい。

何か音がしたと客室係に言う女性。

男がブライアリーに聞いてみよう、という。

女が寒いという。

来ているのは薄い白い服？毛布のようなもの？

第2部

19.リチャード目線

ジョアンナは自分が見た光景はタイタニック号と主張する。

しかしタイタニックであってタイタニックではない。

なにか別の出どころがある、と。

リチャードは映画タイタニックで観た内容ではないか、側頭葉と認識感ではないかと考え、ジョアンナの脳の活動部位をスキャンする。

20.ジョアンナ目線

ジョアンナは自分が観た内容をヴィエルに映画タイタニックを観て確認して、と頼み込む。

セッション(潜り)を録音しかけて、ブライアリーという男の名前が高校時代の教師で彼がよくタイタニックのことを語っていたことを思

い出す。

ブライアリーと連絡を取ろうとしていると、ミセス・ダヴェンポートとバッタリ会ってしまう。

21.ジョアンナ目線

ジョアンナは卒業した高校に行き、ブライアリー先生を探す。

図書室で得た情報をもとに先生の家を突き止める。

ブライアリー先生と書斎で話すが、タイタニックについてはなにも覚えていないという。

帰りがけに姪のキットがブライアリー伯父はアルツハイマーであることを明かす。

22.ジョアンナ目線

ジョアンナは病院に戻ってヴィエルの車の鍵を返し、リチャードと会う。

リチャードはドクター・ランバート・オズウェルの長期記憶についての徹底的リサーチ、L+R(Location and Retrieval)のパターン・マッ

ピングの話をする。

あるパターンがL+Rなのかそれ以外のものなのか数学的に記述する式を導き出したという。

タイタニックのイメージはジョアンナの長期記憶の中で、刺激に対するベストマッチだった、と

。

ジョアンナはタイタニックのイメージは高校時代の先生の言ったなにかから来ていたという。ジョアンナはキットに電話してブライアリー先生の教科書にヒントがないか探ることにする。

23.ジョアンナ目線

キットはブライアリー先生の蔵書から「Voyage and Voice」という青い本を探し出したと連絡をくれる。

ヴィエルはデュカプリオ・ファンのハイジから映画タイタニックの甲板のシーンの有無を聞いたが無かったとの結論に至る。

24.ジョアンナ目線

ジョアンナはキットから連絡を受けて再度ブライアリー先生の家に行くが、探してもらった本は別のものだった。

ジョアンナはキットをディッシュナイトに誘う。

ジョアンナ6回目のセッション。

ジョアンナが立っていた所はタイタニック号の通路だった。

25.ジョアンナ目線

デッキに出て乗客やスチュワードに会話を聞き、上に上がって食堂やブリッジに上がるというリアルな体験をする。

乗務員たちは近くの船に救難信号を発していた。

やがて浸水の報告が入り、ジョアンナは元来た経路を辿って通路に戻り、NDEを脱した。

リチャードはスキャンの結果を見て、前回と今回の違いを確認する。

26.ジョアンナ目線

オフィスでマンドレイクに捕まるが、リチャードが助け舟を出し、会議があると言ってふたりでタコ・ピエールに行く。

リチャードはジョアンナが見たものはタイタニック号ではなく、ほかとの融合物だろうと言う。

27.ジョアンナ目線

ブロックバスターでビデオを借り、キットを拾ってヴィエルの家に向かう途中、キットに頼んだタイタニック号に関する情報をいく

つか聞く。

ダイニング・ルームの仕様を聞いて、ジョアンナは自分が見た船は確かにタイタニック号ではないと納得する。

28. ジョアンナ目線

ヴィエルはジョアンナに伝えたいことがあったがインフルエンザで休み。
ティッシュもインフルエンザにかかってしまう。

ジョアンナはまた潜る。

そして通路→デッキ→ダイニング・ルーム→大階段と上がって行き、途中の救命具や救命艇から船名を読もうとするが見える所にはなか

った。

そしてジムに出る。

そこでは亡くなった患者グレッグ・メノッティがペダルを漕いでいた。

<メモ>

NDE: Near Death Experience. 臨死体験。

NAE: Near After Life Experience. 死後の世界。

リチャードの脳スキャン分析。

被験者を横にし、アイマスクとヘッドホンを付ける。

ジテタミンを投与。覚醒→ノンレム睡眠→NDEへ移行。RIPTスキャン(脳の活動部位を見る)。

脳内物質 α エンドルフィン、 β エンドルフィン、NPK、コルチゾール値増大。

アミグリシン、 θ アスパルシン増大。

β エンドルフィン: 幸福感。

コルチゾール: 恐怖感。

アミグリシン: 抑制物質。

θ アスパルシン: 消化に関する。

被験者に覚醒後インタビュー。

NDE中で見た事を幻覚や夢ではなく現実だったと話す。

臨死体験の2つの説。

- ・ 肉体の機能停止メカニズム

・サバイバル・メカニズム

側頭葉を過剰刺激すると「これには何か意味がある、重要なことである」と思うようになる。

→側頭葉は刺激や記憶を現実のものと感じる。

ERには薬物中毒の患者で暴れる者も来る事があり職員が犠牲になることもある。

ウォルター・リード『タイタニック号の最期』

注目強迫症患者。不完全人格障害。自分に注目を集めるためにNDEをでっち上げる

ジョーク。

ビリーバー(狂信者)はめったに冗談を口にしない。

臨死体験狂信者と超能力者とUFOアブダクティになにか共通した特徴があるとすれば、ユーモア感覚の欠如だ。

⇔科学の知識と、情報を進んで提供しようという意思。

ミズ・ホッジズ「いまや花や鳥を目にすると、以前よりはるかに大きな意味が感じとれるんです」